

年 組 名前

2020年3月12日付津市民版



日当たりのいい土手に群生するツクシ＝亀山市太森町で

春めいた陽気
ツクシ次々と
亀山の土手

春めいた陽気となり、亀山市太森町でツクシが次々と土中から顔を出し、春の訪れを告げている。

寒い日と暖かい日が繰り返す三寒四温の気候に、日当たりのいい土手で枯れ草に交じって群生している。

催花雨ともいわれるこの時期の雨で、さらに大きく育つという。

地元の農業男性(モ)は「まだ茎が細く、今月下旬から四月にかけて太くなる」と話す。「ごま油で炒めて、しょうゆと砂糖で味付けすると絶品。毎年数回は食べる」と本格的な春を楽しみにしている。

(酒井直樹)

問1：ツクシは漢字で「土筆」と書きます。その理由を想像しましょう。

()

問2：「三寒四温」と同じように気候を表す四字熟語を選びましょう。

ア 朝三暮四 イ 小春日和 ウ 付和雷同 エ 晴耕雨読

問3：「催花雨」とは、春、花の咲くのを促すように降る雨のことです。次の言葉の意味を調べてみましょう。

ア 五月雨 イ 夕立 ウ 時雨 エ 氷雨

【活用にあって】

日本語には自然を表す語彙が多くあります。これは日本の自然が変化に富んでいることと、日本人がその自然に親しみ、強い関心をもってきたからです（金田一春彦『日本語 新版（上）』岩波新書）。

とりわけ雨の種類を表す語彙が多いのはよく知られています。「春雨」「菜種梅雨」「狐の嫁入り」「集中豪雨」などがあります。雨に関係する語彙も、「雨脚」「雨宿り」「雨垂れ」「雨模様」などと豊富です。

授業などで言葉の出てきたとき、そのときを逃さず関連する言葉をまとまりとして示し、言葉のおもしろさを実感させることが大切です。

語彙力を高めるには、活字に多く触れることです。そのための方法は新聞を読むことが一番です。

解答例

問 1 : 形状が地面に筆を立てたように見えるから。

問 2 : イ

問 3 : 国語辞典で調べましょう。